

# 商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2016年7月調査結果-

## 調査要領

- 調査期間 2016年7月6日～25日
- 調査対象 200社
- 回答企業 107社
- 回収率 53.5%

### ※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

## 旭川市概況

※全産業の7月の状況を見ると業況DIは、前月より0.1ポイント悪化の▲23.1。

2014年4月以来28ヶ月連続マイナス水準で推移している。

業種別では、建設業、製造業、サービス業の3業種において回復した。

※向こう3か月の先行き見通し業況DIは▲11.3と当月に比べ11.8ポイント回復を見込んでいる。

業種別でみると、全ての業種において回復が見込まれている。

## 旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

|      | 2016年<br>2月 | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 先行き見通し<br>8～10月 |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 業況   | ▲26.4       | ▲25.6 | ▲24.2 | ▲28.0 | ▲23.0 | ▲23.1 | ▲11.3           |
| 売上   | ▲22.7       | ▲19.2 | ▲20.2 | ▲28.3 | ▲21.8 | ▲20.0 | ▲ 6.5           |
| 採算   | ▲22.6       | ▲20.2 | ▲18.2 | ▲26.2 | ▲29.1 | ▲16.2 | ▲ 7.5           |
| 仕入単価 | ▲22.6       | ▲22.0 | ▲22.3 | ▲25.2 | ▲21.1 | ▲18.3 | ▲17.0           |
| 従業員  | 16.1        | 26.6  | 21.2  | 24.2  | 28.5  | 31.4  | 29.0            |
| 資金繰り | ▲11.3       | ▲14.8 | ▲ 5.0 | ▲ 9.1 | ▲ 8.3 | ▲ 5.7 | ▲ 6.6           |

## 旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

|      | 2016年<br>2月 | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 先行き見通し<br>8～10月 |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 建設   | ▲27.3       | ▲26.1 | ▲30.4 | ▲ 9.1 | ▲18.2 | ▲20.8 | ▲16.0           |
| 製造   | ▲14.2       | ▲23.1 | ▲11.5 | ▲16.0 | ▲ 7.7 | ▲14.3 | ▲ 7.1           |
| 卸売   | ▲40.0       | ▲28.0 | ▲25.0 | ▲42.1 | ▲42.3 | ▲40.0 | ▲15.0           |
| 小売   | ▲55.6       | ▲36.8 | ▲20.0 | ▲26.7 | ▲33.3 | ▲29.4 | ▲11.7           |
| サービス | 0.0         | ▲12.5 | ▲40.0 | ▲52.7 | ▲11.8 | ▲13.4 | ▲ 6.2           |

## 今月のトピックス（業界の声）

|       |   |
|-------|---|
| 建設業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事物件が少なくなっており、業界の談合による取り合いが激しくなっているようです。</li> <li>・9月頃までは仕事が見えているが、その後がわからない。</li> <li>・大型工事が少ない分を件数でカバーしているため、技術者不足となっている。</li> <li>・従業員不足・従業員育成</li> <li>・工事の進捗状況は順調に推移。新築工事請負状況は低調。</li> </ul>   |
| 製造業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型物件の引き合いも活発になってきた。対前年比はまずまず。</li> <li>・当社メイン製造品の標識関係の見通しが見えない。</li> <li>・人手不足が年々深刻化してくる。（現状は良いが、定年退職が順次進むとその補充が難しくなる。）</li> <li>・設備投資の出来るところと出来ないところに受注格差が広がっている。二極化が進行している。</li> <li>・新卒採用面接等の時期に入っているが、例年より応募が減少する見込み。キャリア採用含め人材確保が難しい時代に入った感がある。人事制度の改定を進める予定。</li> <li>・印刷業界のマーケットは長期的に縮小傾向にあり、当社でも同様である。広告宣伝物は減少しており、それに変わる商材を発掘できない状況にあり、今後もその傾向は続くものと予想している。</li> </ul>   |
| 卸売業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今月の業況は前年度と同等か少し良いくらい。</li> <li>・売上・粗利とも前年比ではマイナスであったが、予算では売上、粗利とも達成できた。6月決算月でもあり、今月は売上、粗利とも達成率90%台にとどまったもよう。経常利益で若干のプラスになった？ 今後はプラス・マイナス要素も見えず現状で推移と予想する。</li> <li>・メーカーからのプレッシャーで在庫をかかえ、資金繰りが苦しくなってきた。</li> <li>・灯油の価格は現状のまま、しばらく推移するものと思われる。</li> <li>・今年に入ってから消費低迷の影響が続いている。廃業（得意先）もある。法人企業のPRギフトも控えられている。ネット etc で安価な商品を求められている。先行き的には何が何でも売り上げ実績を作らなければならない。</li> </ul>  |
| 小売業   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上面で前年並みに確保できているか？</li> <li>・サマーセールスの時期であるが例年に比べ全体的な集客数は減少気味である。以前のようなセールでのまとめ買いのお客様の数も少なくなっており、客数減の中で客単価下落がマイナス要因。</li> <li>・観光客増などで販売需要は堅調だが、収益性が低迷（同業他社との競り合いで小売価格が安い）公共工事関連の物件が少ない。</li> <li>・販売減少が全ての要因。採算の悪化がとまらない。今月あまり状況に変化はないものと思われます。</li> </ul>  |
| サービス業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・TPP 対策に関連して、農業分野への公共投資が増加傾向にある。</li> <li>・夏季の観光需要の伸びに期待</li> <li>・旭川の主要たるホテルの客数減により売上減であった。富良野方面、札幌方面は外国人観光客の増により、全体的に見ると昨年より売上増。今後、苫小牧方面、ニセコ方面、新幹線の函館方面に観光客の大幅増が見込まれる。</li> <li>・当月に関しては宿泊が団体等を含めて好調である。晴天にも恵まれビアガーデンも好調である。但し、8月以降に関してはまだ先が読めず。</li> <li>・インバウンド減少も（中国半減）、道内客増、単価UP。学生の大会等により売店・食事好調により増収できた。</li> <li>・観光客が多い。特に外国人観光客が昨年より多く来店されるようになった。</li> <li>・外国人旅行客が増加し好調ではあるが、競合施設が増えた事で売上は横ばい、又、これら新規施設に対抗すべくクオリティを向上した事により、コストが上昇。先行見通しも同様。</li> </ul> |

## 旭川市の産業別概況

| 産業    | 概況  |
|-------|---|
| 建設業   | <p>売上 DI15.5 ポイント悪化、採算 DI7.3 ポイント悪化、仕入単価 DI1.1 ポイント悪化、資金 DI0.8 ポイント回復、従業員 DI3.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 2.6 ポイント悪化となった。業種別では、設備その他 5 ポイント、建築業 20 ポイント回復、総合工事 20 ポイント悪化となった。9 月頃までは仕事が見えているが、その後は分からないとの声も寄せられている。</p>  |
| 製造業   | <p>売上 DI3.0 ポイント回復、採算 DI15.7 ポイント回復、仕入単価 DI0.6 ポイント回復、資金 DI 横ばい、従業員 DI13.2 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 6.6 ポイント悪化となった。業種別では、金属窯業他 1 ポイント回復、食料品で横ばい、印刷出版 8 ポイント、家具木材 14 ポイント悪化となった。設備投資の出来るところと出来ないところに受注格差が広がっている。二極化が進行しているとの声も寄せられている。</p>   |
| 卸売業   | <p>売上 DI21.2 ポイント回復、採算 DI28.0 ポイント回復、仕入単価 DI0.7 ポイント悪化、資金 DI1.8 ポイント悪化、従業員 DI0.7 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 2.3 ポイント回復となった。業種別では、食料品 10 ポイント悪化、繊維横ばい、機械鋼材 27 ポイント、その他 5 ポイント回復となった。メーカーからのプレッシャーで在庫を抱え、資金繰りが苦しくなってきたとの声も寄せられている。</p>  |
| 小売業   | <p>売上 DI20.2 ポイント悪化、採算 DI3.6 ポイント回復、仕入単価 DI5.5 ポイント回復、資金 DI10.5 ポイント回復、従業員 DI3.9 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 3.9 ポイント回復となった。業種別では、その他 3 ポイント悪化、衣料品、食料品、動車で横ばいとなった。販売減少が全ての要因。採算の悪化がとまらないとの声も寄せられている。</p>   |
| サービス業 | <p>売上 DI17.0 ポイント回復、採算 DI23.5 ポイント回復、仕入単価 DI13.9 ポイント回復、資金 DI5.9 ポイント回復、従業員 DI4.7 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 1.6 ポイント悪化となった。業種別ではホテル 40 ポイント、整備業、運送で横ばい、クリーニング 100 ポイント、その他 8 ポイント、飲食 50 ポイント悪化となった。外国人旅行者が増加し好調ではあるが、競合施設が増えたことで売上は横ばい、またこれらの新規施設に対抗すべくクオリティを向上したことにより、コストが上昇。先行き見通しも同様という声も寄せられている。</p> |